

据付工事説明書 試運転編

パッケージエアコン <オフィス・店舗用エアコン>

壁掛形 (CS-K5シリーズ)

冷媒R32使用

室内ユニット品番

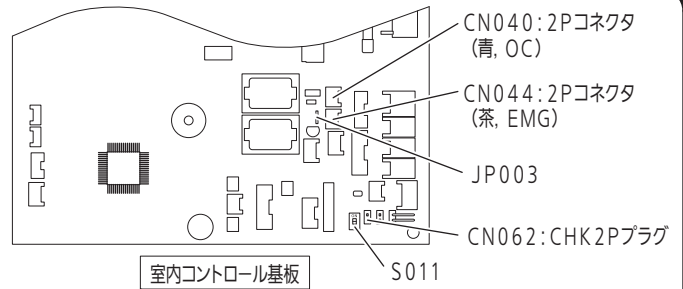
CS-SP40K5	CS-SP50K5	CS-SP63K5	CS-SP80K5
CS-SP45K5	CS-SP56K5	CS-SP71K5	CS-SP112K5

・ワイヤレスリモコンご使用の場合は、ワイヤレスリモコンに同梱されている説明書もあわせてご覧ください。

集中制御機器を使用する場合には、リンク配線とS-LINKアダプターが必要になります。

<1. 試運転の前に>

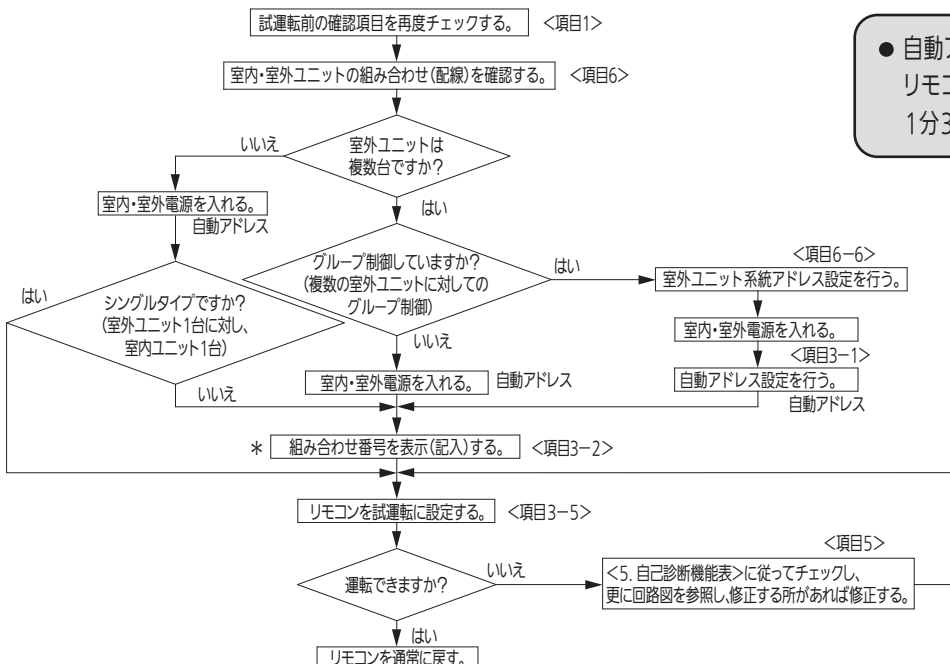
- 配管および電気配線が正しく接続されていることを確認の上、ガス管・液管側の閉鎖弁を全開にしてください。
- 室内ユニット5P端子板のSG1, SG2端子にAC200Vの配線接続をしていないか確認してください。
- 漏電しゃ断器は圧縮機保護のため12時間以上前に入れてください。
*誤ってAC200Vを印加した場合は、室内コントロール基板のF302:ヒューズを溶断して基板を保護するようにしています。配線接続を修正した後、基板に接続されているCN040:2Pコネクタ(青, OC)をはずして、CN044:2Pコネクタ(茶, EMG)に差し換えてください。(右図参照)
茶コネクタに差し換えても運転できない場合には、ジャンパー線(JP003)をカットしてください。
(作業は必ず漏電しゃ断器を切ってから行ってください。)
- 室外ユニット7P端子板のSG(SG1), SG2端子にAC200Vの配線接続をしていないか確認してください。
*誤ってAC200Vを印加した場合は、回路を溶断して基板を保護するようにしています。配線接続を修正した後、室外コントロール基板の(EMG)コネクタに接続されている短絡ピンを「1から2」へ差し替えてください。
(作業は必ず漏電しゃ断器を切ってから行ってください。)
- このユニットは、1冷媒系統に室外ユニット1台・室内ユニット1台のシングルタイプの他に、室外ユニット1台に室内ユニットを複数台(最多4台)同時運転マルチ接続して使用できます。
- 複数台配置される場合には、室内・室外の組み合わせを識別できるように室外ユニット系統アドレスを設定すると、組み合わせが確認しやすい場所(ネームプレート近辺)に室内・室外組み合わせ番号を表示してください。
(後日、メンテナンス時の確認がスムーズに行えます。<項目3-2>“室内・室外ユニットの組み合わせ番号の表示方法”参照)
- 試運転はお客様に立ち会いをお願いして行ってください。「取扱説明書」を説明した上で、実際に操作していただいでください。



<2. 試運転フローチャート>

自動アドレスの注意事項

- 自動アドレスの設定に最大で10分程度かかります。リモコンで“設定中”の点滅が終了した後、1分30秒以上待ってから運転を開始してください。



(*)同時運転マルチおよびグループ制御の時必要です。

<3. ワイヤードリモコン (別売品) の場合>

ワイヤードリモコン CZ-10RT4Aで設定する場合

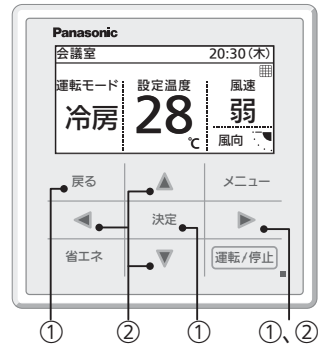
メンテナンス機能画面の表示 (ユニットが停止中に行ってください。)

- ① **戻る** + **決定** + **▶** ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ② **▼** / **▲** ボタンで選択 **◀** / **▶** ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。

<table border="1"> <tr><td>メンテナンス機能</td><td>20:30 (木)</td></tr> <tr><td>0. エコナビ</td><td></td></tr> <tr><td>1. 室外故障データ表示</td><td></td></tr> <tr><td>2. サービス連絡先登録</td><td></td></tr> <tr><td>3. リモコン設定モード</td><td></td></tr> <tr><td>▼ 選択 ▶ ページ送り [決定] 確定</td><td></td></tr> </table>	メンテナンス機能	20:30 (木)	0. エコナビ		1. 室外故障データ表示		2. サービス連絡先登録		3. リモコン設定モード		▼ 選択 ▶ ページ送り [決定] 確定		<table border="1"> <tr><td>メンテナンス機能</td><td>20:30 (木)</td></tr> <tr><td>4. 試運転設定</td><td></td></tr> <tr><td>5. センサー情報表示</td><td></td></tr> <tr><td>6. サービスチェック表示</td><td></td></tr> <tr><td>7. 簡単設定</td><td></td></tr> <tr><td>◀ 選択 ▶ ページ送り [決定] 確定</td><td></td></tr> </table>	メンテナンス機能	20:30 (木)	4. 試運転設定		5. センサー情報表示		6. サービスチェック表示		7. 簡単設定		◀ 選択 ▶ ページ送り [決定] 確定		<table border="1"> <tr><td>メンテナンス機能</td><td>20:30 (木)</td></tr> <tr><td>8. 詳細設定</td><td></td></tr> <tr><td>9. 自動アドレス設定</td><td></td></tr> <tr><td>10. タッチキー感度設定</td><td></td></tr> <tr><td>11. タッチキー感度確認</td><td></td></tr> <tr><td>▲ 選択 ▶ ページ送り [決定] 確定</td><td></td></tr> </table>	メンテナンス機能	20:30 (木)	8. 詳細設定		9. 自動アドレス設定		10. タッチキー感度設定		11. タッチキー感度確認		▲ 選択 ▶ ページ送り [決定] 確定	
メンテナンス機能	20:30 (木)																																					
0. エコナビ																																						
1. 室外故障データ表示																																						
2. サービス連絡先登録																																						
3. リモコン設定モード																																						
▼ 選択 ▶ ページ送り [決定] 確定																																						
メンテナンス機能	20:30 (木)																																					
4. 試運転設定																																						
5. センサー情報表示																																						
6. サービスチェック表示																																						
7. 簡単設定																																						
◀ 選択 ▶ ページ送り [決定] 確定																																						
メンテナンス機能	20:30 (木)																																					
8. 詳細設定																																						
9. 自動アドレス設定																																						
10. タッチキー感度設定																																						
11. タッチキー感度確認																																						
▲ 選択 ▶ ページ送り [決定] 確定																																						

メンテナンス機能画面

ワイヤード
リモコン



< 3-1 リモコンからの自動アドレス設定方法 >

室内外ユニット全て電源を入れてから1分30秒以上待ってからアドレス設定してください。

- **▼** / **▲** ボタンで9.自動アドレス設定を選択し、**決定** ボタンを押してください。
自動アドレス設定画面が表示されます。
 - **◀** / **▶** ボタンで項目コード/系統No.の選択を切り替えてください。
 - **▼** / **▲** ボタンで項目コード: A1/系統No.: 系統番号を選択し、**決定** ボタンを押してください。
自動アドレス設定が開始されます。(リモコンに“設定中”と表示します。) “設定中”が消灯したら設定完了です。
設定が完了すると再起動します。別の系統を設定する場合は、上記「メンテナンス機能画面の表示」から行ってください。
 - 設定を中断する場合は **戻る** ボタンを押してください。
- ※アドレス設定後1分30秒以上待ってから運転を開始してください。

自動アドレス設定	20:30 (木)
項目コード	系統No.
A1	1
◀ 項目コード変更 ▶ 次へ	

自動アドレス設定画面

< 3-2 室内・室外ユニットの組み合わせ番号の表示方法 (自動アドレス完了後) >

複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外コントロール基板の系統アドレス番号と対応させ、室内ユニットの確認しやすい場所 (室内ユニットのネームプレートの近辺など) に表示してください。

(例) 1-1 (室外ユニット系統: 1-室内ユニット番号: 1)、1-2・・・、2-1、2-2・・・

※メンテナンス時の確認がスムーズに行えます。必ず表示するようにしてください。

- **▼** / **▲** ボタンで7.簡単設定を選択し、**決定** ボタンを押してください。
簡単設定画面が表示されます。
- **▼** / **▲** ボタンでユニットNo.を選択すると、選択された室内ユニットのみ室内ファンが運転します。
- **戻る** ボタンを押し、再起動: “はい” を選択し、**決定** ボタンを押してください。

簡単設定	20:30 (木)	
ユニットNo.	項目コード	設定データ
3-1	10	0001
◀ ユニットNo.変更 ▶ 次へ		

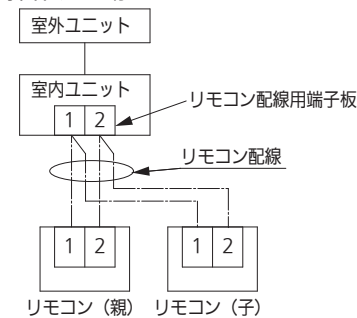
簡単設定画面

< 3-3 親・子リモコン制御 (複数のリモコンを設置する場合) >

1台もしくは複数台の室内ユニットを複数のリモコン (最多2個まで) で操作することができます。(その中のひとつは、子リモコンに設定してください。)

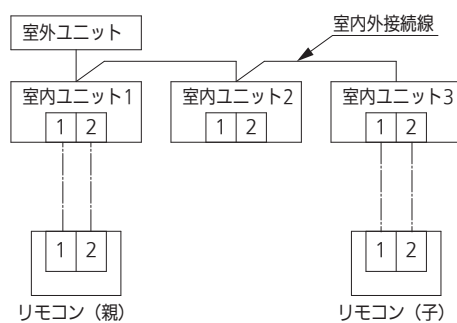
※詳細は、リモコンに付属の説明書を参照ください。

室内ユニット1台を
リモコン2個接続して
操作する場合

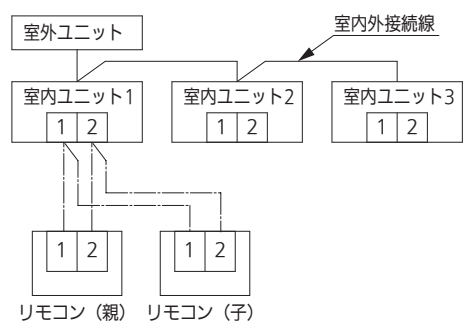


同時運転マルチをリモコン2個接続して操作する場合

(別々の室内ユニットに接続する場合)



(同じ室内ユニットに接続する場合)



- **▼** / **▲** ボタンで3.リモコン設定モードを選択し、**決定** ボタンを押してください。
リモコン設定モード画面が表示されます。
- **◀** / **▶** ボタンで項目コード/設定データの選択を切り替えてください。
- **▼** / **▲** ボタンで項目コード: 01/設定データ: 0000 (子)、0001 (親) を選択し、**決定** ボタンを押してください。
- **戻る** ボタンを押し、再起動: “はい” を選択し、**決定** ボタンを押してください。

リモコン設定モード	20:30 (木)
項目コード	設定データ
01	0001
◀ 項目コード変更 ▶ 次へ	

リモコン設定モード画面

<3. ワイヤードリモコン(別売品)の場合(つづき)>

< 3-4 詳細設定方法 (ユニットが停止中に行ってください。) >

- **▼** / **▲** ボタンで8.詳細設定を選択し、**決定** ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。
 - **◀** / **▶** ボタンでユニットNo./項目コード/設定データの選択を切り替えてください。
- ※設定する項目コード、設定データの値は別添付の据付工事説明書等でご確認ください。

詳細設定	20:30(木)	
ユニットNo.	項目コード	設定データ
3-1	5D	0001
◀ ユニットNo.変更 ▶ 次へ		

詳細設定画面

< 3-5 リモコン試運転設定 >

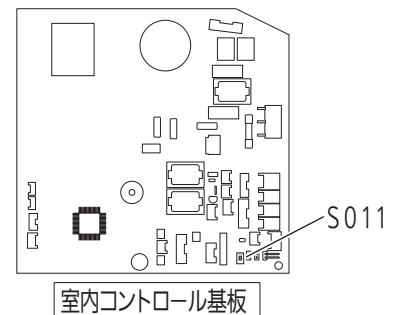
- **▼** / **▲** ボタンで4. 試運転設定を選択し、**決定** ボタンを押してください。
 - **▼** / **▲** ボタンで試運転設定: オンを選択し、**決定** ボタンを押してください。
 - **戻る** ボタンを押し、リモコンに“試運転”と表示していることを確認ください。
 - **運転/停止** ボタンを押すと試運転を開始します。暖房、冷房のいずれかの運転モードでご使用ください。(冷房専用機種は冷房試運転のみ)
 - 試運転を終了後は再度、上記メンテナンス機能→4. 試運転設定を選択、試運転設定: オフを選び、**戻る** ボタンを押し、“試運転”が消灯していることを確認ください。(連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。)
- インバーター室外ユニットの試運転は、圧縮機の運転を10分以上行ってください。(欠相確認のため)

<4. ワイヤレスリモコン(別売品)の場合>

- エコナビセンサー(壁設置形)を設置し、エコナビ機能を使用する場合は、エコナビ対応ワイヤードリモコンが必要です。
- ワイヤレスリモコンとワイヤードリモコン併用時は、ワイヤードリモコンを親リモコンとして使用してください

< 4-1 ワイヤレスリモコンへの切り換えについて >

- 室内コントロール基板上のSW設定S011を「OFF→ON」に切り換えてください。
※ワイヤレスリモコンのみ使用する場合に切り換えてください。
- S011のSW設定を切り換える際には、必ず漏電しゃ断器を切ってください。
- 切り換え作業については、基板を手前に引き抜くことで対応可能です。
(基板上的コネクタは抜かずに、切り換え作業を行ってください。)



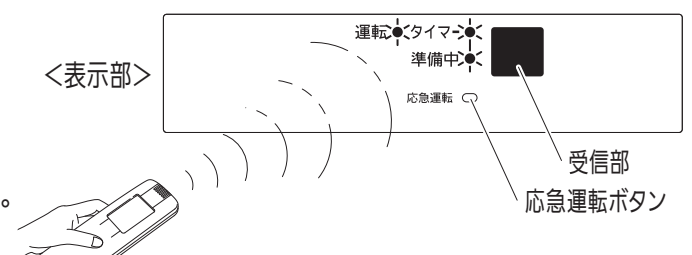
< 4-2 温度センサーの切り換えについて >

- 室温センサーは、室内ユニットとワイヤレスリモコンに内蔵されています。室温センサーはどちらか一方で動作します。
 - ワイヤレスリモコンの液晶表示部に **本体センサー** の表示がある場合には、室内ユニット本体のセンサーで動作します。リモコンセンサーに切り換える場合には、リモコンカバーを開け“センサーボタン”を一度押すと **本体センサー** の表示が消えて、リモコンセンサーになります。
- (注) リモコンセンサーが選択されていても、リモコンから室温の信号が10分間ユニットに伝わらない場合には、自動的に室内ユニット側のセンサーに切り換わります。リモコンは確実にユニットが受信できる位置に取り付けてください。
- (注) グループ制御を行っているときは必ず **本体センサー** でご使用ください。



< 4-3 リモコンの取り扱いかた >

- リモコンは、受信部(本体)に向けてください。
- 受信できる距離は、約6mです。この距離は目安です。乾電池の容量等により若干、前後します。
- 受信部との間に信号をさえぎるものがないようにしてください。
- 正常に受信すると“ピッ”と音がします。
(運転開始時のみ“ピッ、ピッ”と2回音がします。)



- (注) 1. 落としたり、投げたり、水洗いなどしないでください。
2. 直射日光の当たる場所、ストーブなどの近くに置かないでください。

<4. ワイヤレスリモコン(別売品)の場合 (つづき)>

< 4-4 試運転について >

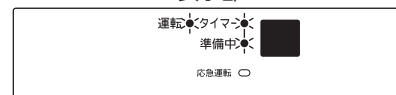
●冷房専用としてご使用の場合

本機を冷房専用としてご使用になる場合、リモコンの設定が必要となります。
ワイヤレスリモコンに同梱している据付工事説明書「リモコンの機能設定について」の項目番号1(運転モード)を「ドライ・冷房・送風」または「冷房・送風」に設定してください。

●<操作部>のご使用方法

1. 室内ユニットの表示部の応急ボタンを4秒以上押します。
(電源投入後および運転停止後約3分間は室外ユニットは運転しません。)
2. 表示部の表示ランプが順々に点滅します。
3. 一度手をはなし、再度応急運転ボタンを4秒以上押します。
4. すべての表示ランプが点滅します。
5. 試運転中は、温度調節はできません。
6. 正常に運転できない場合には、表示部にランプ表示されます。<5. 自己診断機能表と処理方法>を参照して修正してください。
7. 試運転終了後は、応急運転ボタンを押します。表示ランプが消灯することを確認してください。
(連続試運転を防止するために、60分タイマー試運転解除機能付となっています。)

<表示部>



注1) 機器に無理がかかりますので、試運転時のみご使用ください。

<5. 自己診断機能表と処理方法>

ワイヤード リモコン表示	ワイヤレス リモコン表示	原因				処置方法
		1:1接続の場合 (シングルタイプ)	グループ制御 の場合	同時運転マルチ の場合	親・子リモコン 制御の場合	
全く表示 されない	全く表示 されない	●リモコンが正しく接続されていない。 ●室内ユニットの電源が入っていない。				●正しく接続する。 ●室内ユニットの電源を入れる。
“設定中”が消えない (最大で10分程度)		●アドレス設定が終了していない。 室内外能力の不一致、他。				●室外基板上的LED1, 2表示(注1)を 確認し、配線・室内外能力をチェックする。
“E01”表示	運転ランプ 点滅	●自動アドレスが終了していない。 ●室内外接続線の断線・接続不良。 ●リモコンが正しく接続されていない。(リモコン受信不良)				●リモコンおよび室内外接続線の配線を 確認する。 ●自動アドレス設定を行う。
“E02”表示		●リモコンが正しく接続されていない。 (リモコンから室内ユニットへの送信不良)				●正しく接続する。
“E09”表示		—————			●親リモコンが 2台設定さ れている。	●<3-3 親・子リモコン制御>の項 を参照して正しく設定する。
“E14”表示		—————		●グループ制御内で親機重複。	—————	●グループ親子設定を正しく設定する。
“E18”表示	—————		●グループ制御配線不良。	—————	●リモコンわたり配線を確認し、 再度自動アドレス設定を行う。	
“E04”表示	準備中ランプ 点滅	●室内外接続線または信号線の断線、接続不良。				●正しく接続する。 ●基本配線図を参照して正しく接続する。
“E06”表示		●室内ユニット容量が少ない。				●室内・室外ユニット総合容量を 適切な能力であることを確認する。
“E15”表示		●室内ユニット容量が多い。				
“E16”表示		●室内ユニットからのシリアル信号を全く受信できない。				●室内ユニットに電源が入っているか、 室内外接続線は正しいか確認する。
“E20”表示		●室内外接続線、室内外信号線の誤配線。				電源を切り①、②を実施する。 ①正しく接続する。 ②室外ユニットのEMGコネクタを1→2へ 差し替える。
“E22”表示	●室内外接続線、室内外信号線の誤配線。				●室内外接続線、室内外信号線の誤配線。	
“P05”表示	運転ランプ・ 準備中ランプ 交互点滅	●室外ユニットの3相電源が、逆相または欠相になっている。 ●室外ユニットのリアクタ線の断線、接続不良。				●室外ユニットの3相電源の2相を 入れ替えて正しく接続する。
“L02” “L13”表示	運転ランプ・ 準備中ランプ 同時点滅	●室内・室外ユニット機種の一不一致。				●室内・室外ユニットの機種を確認する。
“L07”表示		—————		●室内ユニットがツイン以上 の接続で個別設定になっ ている。	—————	●自動アドレス設定を行う。
“P12”表示	タイマーランプ ・準備中ランプ 交互点滅	●室内ユニットのDC送風機異常。				●ファン保護材がはずしてあるか確認する。 ●DC送風機・基板間の配線を確認する。

●上記処置をしても正常に運転しない場合、または上記リモコン表示以外の表示がでる場合には、販売店に連絡してください。

<5. 自己診断機能表と処理方法 (つづき)>

室外基板上的LED表示

誤配線接続の場合、室外基板の「LED1が4回点滅」で（E警報）「LED2が22回点滅」で（E22警報）になります。処置方法は正しく接続した後、電源を入れ直してください（自動復帰警報ではありません）

室外自動アドレス中のLED表示(LED1, 2が交互点滅します)

「E15警報」LED1, 2共0.25秒ON/0.75秒OFF同時点滅します。

「E20警報」LED1, 2共0.75秒ON/0.25秒OFF同時点滅します。

上記以外の警報（E15, E20以外）は、同時点滅します。

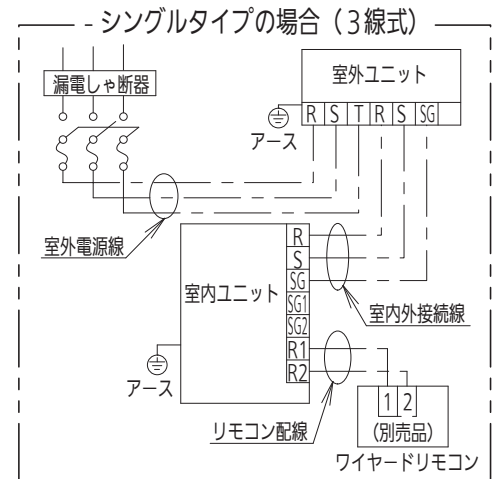
S-LINKアダプターの表示

赤色ランプ	状態	対応
消灯	本基板に電源が供給されておられません。	<ul style="list-style-type: none"> •S-LINKアダプターと室外ユニット(または室内ユニット)基板との配線があるか確認してください。 •コネクタがしっかりささっていることを確認してください。 •空調機の電源が入っていることを確認してください。
点滅	原因	処置
	空調機と通信異常 室外ユニットのアドレス重複異常	<ul style="list-style-type: none"> •室内外接続線、および、信号線を確認してください。 •同じ冷媒系統にもう1台S-LINKアダプターが接続されていないか確認してください。 •リンクを接続した空調機が同じ系統アドレスでないか確認してください。

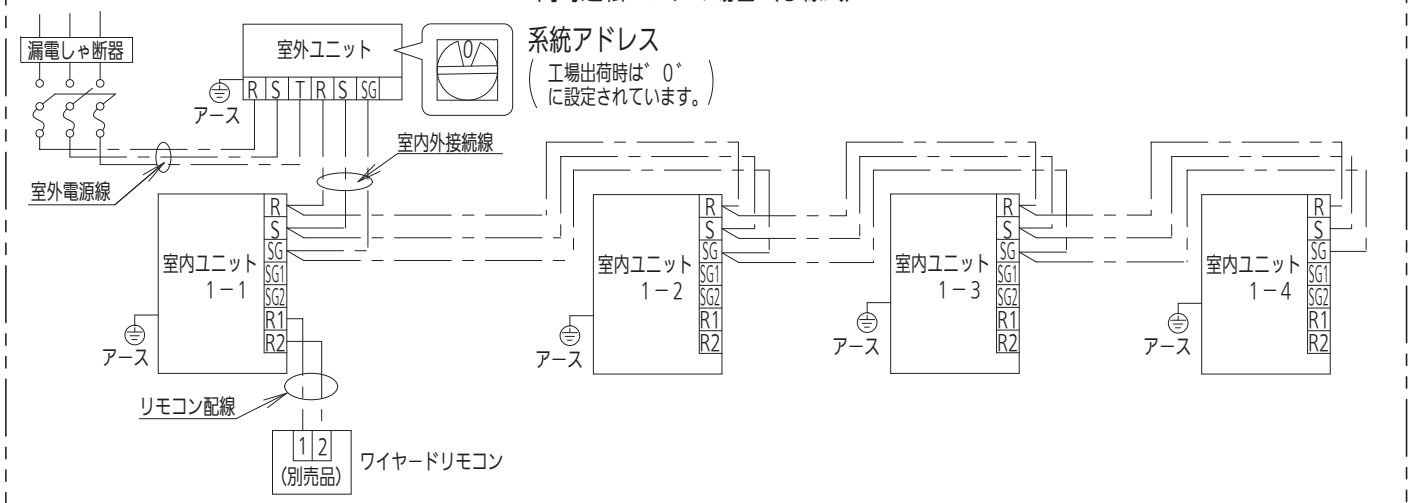
<6. システムコントロールする場合>

< 6-1 基本接続 1 > ワイヤードリモコン使用でシングルタイプおよび同時運転マルチの場合

- 同時運転マルチ：1台の室外ユニットに、最多4台（ダブルツイン）の室内ユニットを接続して運転が可能です。（ただし、室外ユニットの容量と室内ユニットの総容量は合わせてください。）（個別にリモコンを接続しての単独運転はできません。）
- 配線は誤配線のないように接続してください（誤配線するとこわれます。）
- 室内・室外の電源を入ると自動アドレスを設定します。（室外ユニットが1台の場合、システムアドレスが設定が“0”の場合）この時、約10分程度かかります。自動アドレス中は、室外コントロール基板のLED1とLED2が交互点滅し、完了時は消灯します。
- アドレス完了後、1分30秒以上待つてから、運転を開始してください。



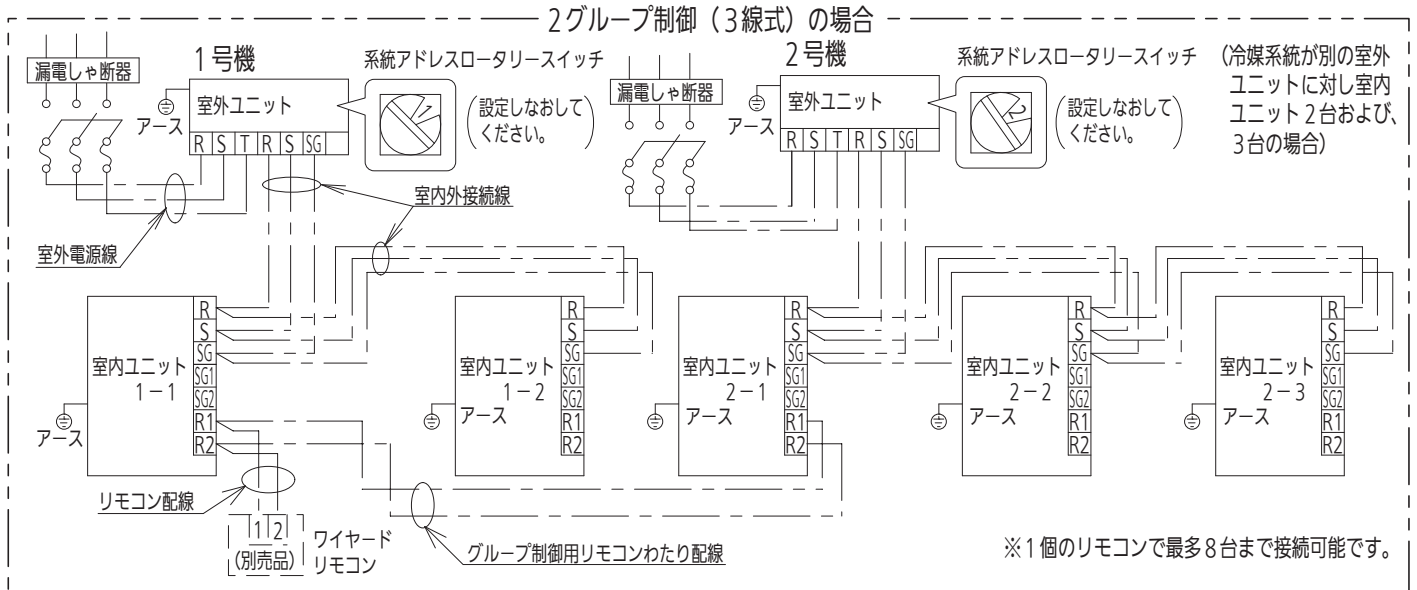
同時運転マルチの場合（3線式）



<6. システムコントロールする場合 (つづき)>

< 6-2 基本接続 2 > ワイヤードリモコン使用でグループ制御の場合 (集中制御機器を使用しない場合)

- 1個のワイヤードリモコンで、室内ユニット最多8台まで接続可能です。
(冷媒系統が室外ユニット1台に対し室内ユニット2台および、室外ユニット1台に対し室内ユニット3台の場合)、
漏電しゃ断器を入れる前に、システムアドレス (冷媒配管システムアドレス) の設定をしてください。
(<項目6-6> “室外ユニットシステムアドレスの設定方法” 参照)
(室外コントロール基板、システムアドレスロータリスイッチで設定してください。)

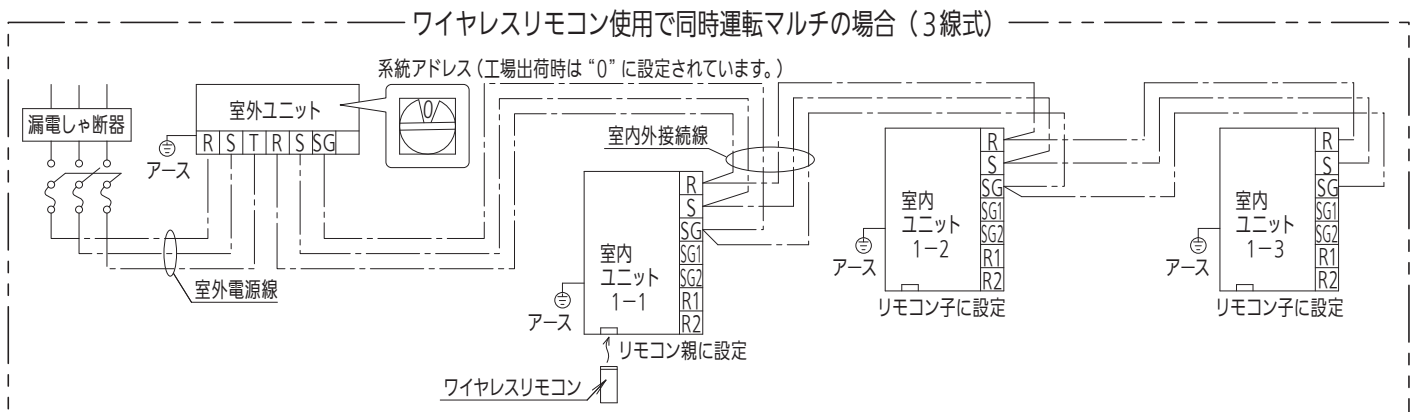


(配線の手順)

1. リモコンを室内ユニットのリモコン配線用端子板 (R1, R2) に接続してください。(リモコン配線)
2. 室内ユニット (R, S, SG) と室外ユニット (R, S, SG) を接続してください。他の室外ユニットと室内ユニット (冷媒系統が異なる) も同様に行ってください。(室内外接続線)
3. 室内ユニット (リモコンを接続したユニット) リモコン配線用端子板 (R1, R2) から、他の室内ユニットのリモコン配線用端子板 (R1, R2) にリモコンわたり配線 (2線) をそれぞれ接続してください。(リモコンわたり配線)
4. 自動アドレスの設定は、室内・室外共電源を入れ、リモコンで設定してください。
(<項目3-1> “リモコンからの自動アドレス設定方法” 参照)

< 6-3 基本接続 1 > ワイヤレスリモコン使用で同時運転マルチの場合

- 1台の室外ユニットに、(最多4台) の室内ユニットを接続して運転することが可能です。
(ただし、室外ユニットの容量と室内ユニットの総合容量は合わせてください。)
*配線は誤配線のないように接続してください。(誤配線するとこわれます。)



(配線の手順)

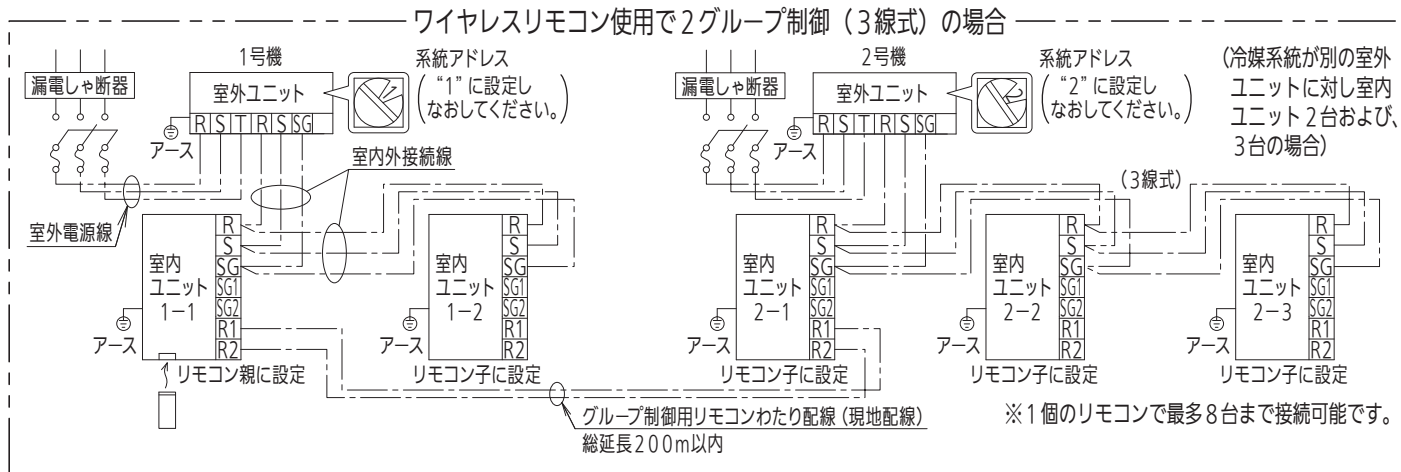
1. 室内ユニット1号機をワイヤレスリモコンで運転できるように室内コントロール基板上的のスイッチ設定「S011」をリモコン親に設定します。(出荷時はスイッチ設定「S011」をOFFに設定してあります。ONに設定してください。)
室内ユニット2号機以降は、リモコン子に設定します。(出荷時に設定してあります。)
2. 室内ユニット1号機の端子板R, S, SGと室外ユニットの端子板R, S, SGに室内外接続線を接続してください。
また、室内ユニット間わたりも接続してください(室内外接続線)
3. 室内・室外の電源を入れると自動アドレスを設定します。(室外ユニットが1台の場合、システムアドレスが0の場合)
この時、約10分程度かかります。自動アドレス中は、室外コントロール基板のLED1とLED2が交互点滅し、完了時は消灯します。
アドレス完了後、1分30秒以上待ってから運転を開始してください。

< 6. システムコントロールする場合 (つづき) >

< 6-4 基本接続 2 > ワイヤレスリモコン使用でグループ制御の場合 (集中制御機器を使用しない場合)

● 1個のリモコンで、室内ユニット最多8台まで接続可能です。

例：冷媒系統が室外ユニット1台に対し室内ユニット2台、および室外ユニット1台に対し室内ユニット3台の場合
漏電しゃ断器を入れる前に、システムアドレス (冷媒系統アドレス) の設定をしておいてください。
(<項目6-6> “室外ユニットシステムアドレスの設定方法” 参照)
(室外コントロール基板、システムアドレスロータリスイッチで設定してください。)



(配線の手順)

1. 室内ユニット1号機をワイヤレスリモコンで運転できるように室内コントロール基板上的スイッチ設定「S011」をリモコン親に設定します。(出荷時はスイッチ設定「S011」をOFFに設定してあります。ONに設定してください。)
室内ユニット2号機以降は、リモコン子に設定します。(出荷時に設定してあります。)
2. 室内ユニット1号機の端子板R1, R2と、他の室内ユニットの端子R1, R2に、上記基本接続2のようにわたり配線を接続してください。
3. 室内ユニット1号機の端子板R, S, SGと室外ユニットの端子板R, S, SGに室内外接続線を接続してください。
その他の室外ユニットから室内ユニット端子板R, S, SG (冷媒系統の異なる) も同様に接続してください。
4. 自動アドレスの設定方法は、室外ユニットから行ってください。(項目6-7) “室外ユニットから自動アドレスの設定方法” 参照)

< 6-5 基本接続 3 >

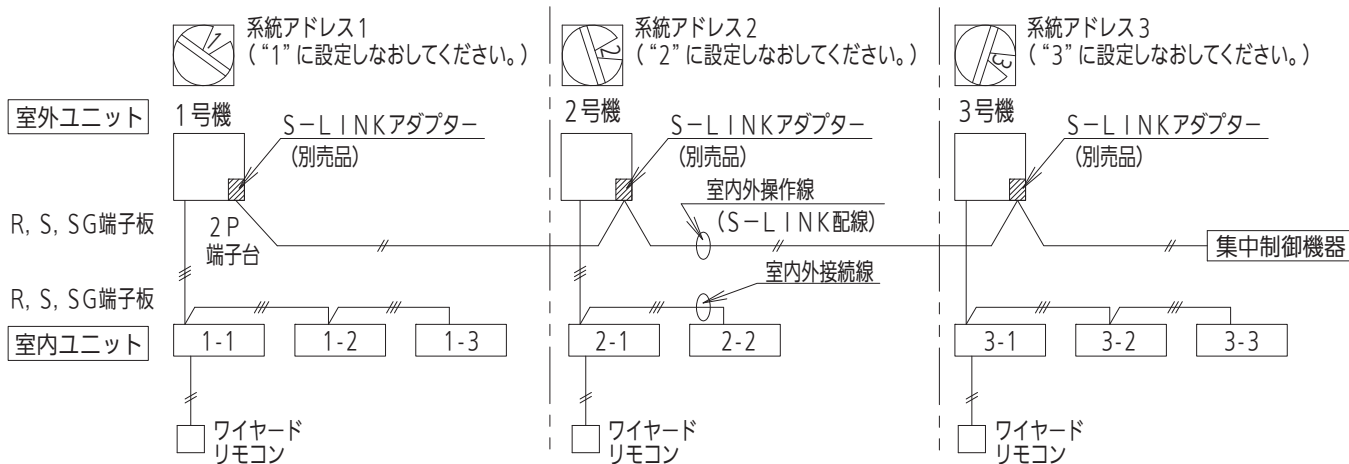
● リンク配線

注意：グループ制御

1個のリモコンで、室内ユニット最多8台まで接続可能です。

S-LINKアダプターを取付け、リンク配線する場合はS-LINKアダプターの説明書を参照してください。

・ S-LINKアダプター室外機接続例



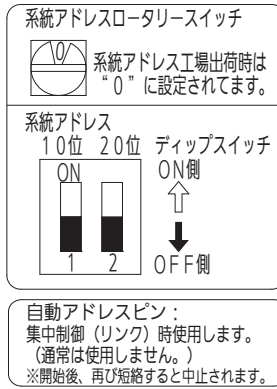
- ・ 室内外電源を入れてから、1分30秒以上待ってアドレス設定してください。
- ・ リモコン表示の「設定中」が消えてから (アドレス確定後)、1分30秒以上待って運転を開始してください。

※ 壁掛形にS-LINKアダプターを取り付ける場合は、壁掛専用のS-LINKアダプターの説明書を参照して配線してください。

< 6. システムコントロールする場合 (つづき) >

< 6-6 室外ユニット系統アドレスの設定方法 > 漏電しゃ断器を入れる前に行ってください。 基本接続2、3の場合 (系統アドレス1、2、・・・と設定してください。)

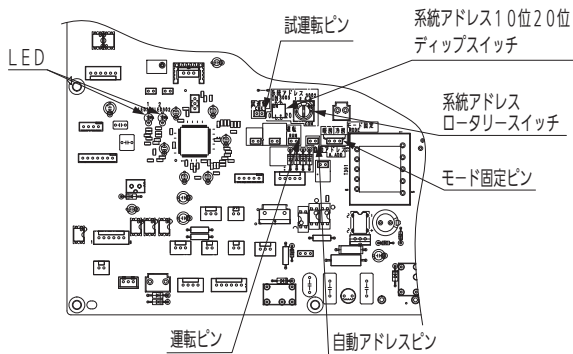
- ・ 室外基板にある「系統アドレスロータリースイッチ」と「ディップスイッチ」(右図)を使用して、系統アドレスを設定します。
(※設定は、漏電しゃ断器を入れる前に行ってください。)
- ・ 右の表を参考にして設定したい系統アドレスになるよう、両方のスイッチを変更してください。
(系統アドレスは、「0」(出荷時)から「30」まで設定可能です。)



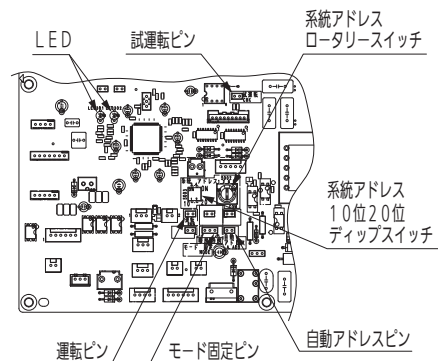
系統アドレス番号	系統アドレス 10位 (2Pディップスイッチ)	系統アドレス 10位 10位20位	系統アドレス 1の位 (ロータリースイッチ)
0 自動アドレス (出荷時設定“0”)	両方共OFF		設定0
1 (室外ユニットが1号機の場合)	両方共OFF		設定1
2 (室外ユニットが2号機の場合)	両方共OFF		設定2
11 (室外ユニットが11号機の場合)	10位がON		設定1
21 (室外ユニットが21号機の場合)	20位がON		設定1
30 (室外ユニットが30号機の場合)	10位と20位がON		設定0

室外コントロール基板

高効率 (G) シリーズ (63~80形 単相)



高効率 (G) シリーズ (63~160形 三相)



< 6-7 室外ユニットから自動アドレスの設定方法 >

- 冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源が「ONできる場合」「ONできない場合」どちらも圧縮機を運転せずに室内ユニットのアドレス設定ができます。

1. ・ 冷媒系統毎に電源が「ONできる場合」1冷媒系統の室内・室外ユニットの電源を入れてください。
・ 冷媒系統毎に電源が「ONできない場合」全ての室内・室外ユニットの電源を入れてください。
(電源を入れてから、1分30秒以上待ってアドレス設定してください。)



- ・ 「冷媒系統毎に電源がONできる場合」電源をONにした室外ユニットの自動アドレスピン (白) を短絡し、離してください。
- ・ 「冷媒系統毎に電源がONできない場合」自動アドレスしたい室外ユニットの自動アドレスピン (白) を短絡し、離してください。 <項目6-6> “室外ユニット系統アドレスの設定方法” 参照
(自動アドレス設定の通信が始まります。)



(室外コントロール基板上的LED1と2が交互点滅し、完了時は消灯します。) <約10分程度かかります>
※失敗した場合には、<5.自己診断機能表と処理方法>に従って、修正を行なう箇所があれば、修正を行なってください。



2. 次に他の系統の室外ユニットの自動アドレスピン (白) を短絡し、離してください。



(室外コントロール基板上的LED1と2が、交互点滅し、完了時は消灯します。)



(同様の動作を繰り返して各系統毎の自動アドレス設定を完了させてください。)



3. 全ての系統のアドレス完了後、1分30秒以上待ってから運転を開始してください。